

るには、依然幾何天庚を以て算するが故に、之を知らざるべからず。而して其計算は、八個天庚を以て銀壹兩と爲すに因り、壹天庚は銀壹錢二分五厘、又は紅錢二十五文とす。

三 貿易の過去と現状

新疆は往昔屢々戰亂ありし爲め、鎖國の時代なきに非ざりしも、夙に亞細亞、巴密爾印度、西藏人等との交通貿易行はれたること、支那本部よりも早し。然れども最後の回亂の爲め、人民は流離潰散し、貿易殆んど衰頽したるが、平定の後、清廷勉めて人民を招致し、更に地方制度を改め、交通貿易の自由をも許せしより茲に一新紀元を開き、爾來通商貿易は、支那内地、露領中亞細亞各地、巴密爾印度、克什米爾、西藏人との間に於て行はれ、其の貿易市場、南路に於ては喀什噶爾、葉爾羌、北路に在ては伊犁、最も隆盛ならんとす。

各地より南路に輸入する商品に對しては、先づ市場に於て、其の價格を定むるを要す。故に前に述べし如き一の牙商と稱する者を設けて評價せしむ。牙商の定むる價格は、所謂標準價格なれば、之れに依て賣買貿易を行ひ、而も牙商の物貨價格